|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **履 歴 書**  写真を貼る位置  写真を貼る必要がある場合  1. 縦　36～40mm  横　24～30mm  2.本人単身胸から上  3.裏面のりづけ  4.裏面に氏名記入 | | 2025年　　9月　 25日　現在 |
| ふりがな | チョ　ウェイ　ヤン | |
| 氏名 | KYAW WAI YAN | |
| 生年月日 | 1994 年　　8　月　　12日　(満　31　歳) | | ※性別  男 |
| ふりがな | ふくおかけんふくおかしにしくめいのはまえきみにみ3－6－24１０２ごうしつ　れじでんすめいのはま | | 電話 090-4454-0786 |
| 現住所 | 〒819-0006  福岡県福岡市西区姪浜駅南3－6－24 102号室　レジデンス姪浜 | | E-mail  Kyawwaiyan641@gmail.com |
|  |
| ふりがな |  | | 電話 |
| 連絡先 | 〒 　　 　　　 （現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入） | | E-mail |
|  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年 | 月 | 学　歴 |
| 2008 | 4 | 基礎教育第⼀⾼等学校　（No.3 TARMWE HIGH SCHOOL）入学 (MYANMAR) |
| 2010 | 2 | 基礎教育第⼀⾼等学校　（No.3 TARMWE HIGH SCHOOL）卒業(MYANMAR) |
| 2010 | 12 | ヤンゴン大学　　動物学科　大学　　入学 (MYANMAR) |
| 2017 | 3 | ヤンゴン大学　　動物学科　大学院　　卒業 (MYANMAR) |
| 2017 | 4 | FLA学院日本語学校 (福岡)入学 |
| 2019 | 3 | FLA学院日本語学校 (福岡)卒業 |
| 2019 | 4 | 国際アニメーション専門学校（福岡）　アニメ学科　　入学 |
| 2021 | 3 | 国際アニメーション専門学校（福岡）　アニメ学科　　卒業 |
| 2021 | 4 | 国際アニメーション専門学校（福岡）　CG学科　入学 |
| 2022 | 3 | 国際アニメーション専門学校（福岡）　CG学科　途中 |
| 2022 | 4 | 中央情報専門学校（埼玉）IT.WEB学科　　入学 |
| 2024 | 3 | 中央情報専門学校（埼玉）IT.WEB学科　　卒業 |
|  |  |  |
|  |  |  |

※「性別」欄：記載は任意です。未記載とすることも可能です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年 | 月 | 職　歴 |
| 2024 | 4 | 株式会社アウトワード　入社 |
|  |  | 現在に至る |
|  |  | 以上 |
|  |  |  |
| 年 | 月 | 免　許・資　格 |
| 2023 | 7 | 日本語能力試験　N2　取得 |
| 2023 | 12 | 共通クラウド技術検定試験3級 |
| 2025 | 5 | AWS AI Practitioner |
| 2025 | 12 | TOEIC (Listening and Reading) 取得予定 |

|  |
| --- |
| 希望動機・自己PR |
| 2017年に来日し、日本語学校および専門学校にて日本語・アニメ・CGを学んだ後、中央情報専門学校 IT・Web学科に進学し、Javaを習得しました。在学中から独学で HTML・CSS・JavaScript・PHP を学び、Webサイト制作に取り組みました。  卒業後はWeb系企業に入社し、PHP・Laravel を用いたWebアプリケーションの開発・改修に従事しました。認証機能やAPI開発、Eloquent ORMによる効率的なデータベース操作、Bladeを用いたテンプレート設計などを経験しています。さらに、Dockerによる環境構築、Seleniumを用いたWeb自動化、SEO対策など幅広い業務に携わり、Backlog・Slack・Trello・Chatwork・Microsoft Teams を活用したチーム開発にも貢献しました。  自社サービスの新規SaaSプロジェクトでは、インドネシア・ベトナム・インドの海外チームと協働し、設計・管理・テスト・レビューを担当しました。ブリッジエンジニアとして課題の翻訳・説明・報告を行い、多国籍メンバーとの調整力・コミュニケーション力を培いました。  技術面では、バックエンドに加えて React（基礎的な実装経験あり）、TypeScript、MongoDB、PostgreSQL などを独学で習得しました。AWS（EC2・S3・CloudFront・Lambda）の利用経験もあります。今後はバックエンド・インフラの経験を基盤に、フロントエンド領域にも挑戦し、フルスタックエンジニアとして成長していきたいと考えております。  御社の開発環境・サービスにおいても、これまで培った経験と学習意欲を活かし、課題解決や新技術の習得に積極的に取り組むことで、プロジェクト全体の価値向上に貢献したいと考えています。 |